

# 謹賀新年



## 「冠山城遠望」

大和郡山市長

上田 清

あけましておめでとうございます。

さて、現代仮名遣いで「郡山」は「こおりやま」ですが昔は「かうり山」と書きやがて「かふり山」さらには「かむり山」と変化するうち「かふり」や「かむり」に洒落で「冠」の字を当てた「冠山」がいつのころからか郡山の別称となり郡山城も「冠山城」と呼ばれるようになったそうです。

その「冠山城」で3年前から取り組んでいる天守台の修復・整備事業は順調に進み、天守閣の礎石や金箔瓦が出土した発掘調査の後、昨年からは石垣の一部を解体して積み直す作業がスタートしたのですが、石垣に対する見方は一変しました。

というのも現場に行ってみると、天守台の中心には盛り土があり、外側から見える石積みと盛り土の間には、2～3メートルの幅で「裏込め石」が上から下までびっしりと詰め込まれていて、この裏込め石が地震の揺れを和らげたり水の通路になるなど、石垣の安定に大きな役割を果たしていたとか。先人の知恵には驚くばかりです。

来春、天守台には展望用の施設も完成します。冠山城遠望。目の前に広がる奈良盆地。西には矢田丘陵。西日を受けた天守閣はどのように光り輝いていたのでしょうか。

そうしたなか、近鉄郡山駅周辺や昭和工業団地に関する県との協定に基づくまちづくり、市役所庁舎の建て替えに関する議論の開始、清掃センター長寿命化事業の本格化、幼稚園の耐震化、少子高齢化や人口減少への対応、地方創生の取り組み、リメイク大和郡山ステージ3の継続等々、今年も職員一同、力を合わせて頑張っていますので、引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 「新年を迎えて」

大和郡山市議会議員

逢日直釈

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市政に対し暖かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

我が大和郡山市は、ご承知のとおり、筒井順慶の築城に始まり、豊臣秀長、柳澤家の下で、発展した城下町であります。平成25年度よりスタートしております郡山城天守台展望施設整備事業では、天守の礎石や金箔瓦が出土し、四百数十年前の優れた石積みの技術が確認されました。平成28年度末には市民の皆様には雄大な眺望を楽しんでいただける展望施設が完成する予定であります。

また、去年は西友跡にasmo大和郡山がオープンし、まちの賑わいが戻ってまいりました。本年は、奈良県とのまちづくり包括協定も2年目を迎え、近鉄郡山駅周辺地区の将来像を描いた基本構想を策定し、更に具体的な取り組みが進んでまいります。

市議会といたしましても、地域の活力を取り戻し、市民の皆様が夢を持って明るく元気に暮らしていただけるよう、市当局と共に知恵を出し合い市政運営に努力、邁進する所存であります故、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

最後に、本年も明るい年になりますよう、皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

